

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援チャーむ				公表日	令和 8 年 3 月 18 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100		個別活動の時間には個室を提供したりカーテンによる仕切りを作ることで落ち着いて活動できるように配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100		適切に配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100		室内にトイレ、手洗い場を設置することで排泄時の行動がスムーズにおこなえるように配慮している。ロッカーに名札を貼ったり、スケジュールカードを用いて視覚支援をおこなっている。入口にスロープ、手すりを設置し、室内は段差のない環境となっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100		毎日清掃や消毒をおこなっている。個々の活動に合わせて個室やカーテンによる仕切りを活用している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100		個室を複数用意し、提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100		ミーティングをおこない、職員が共通の目標を持って取り組めるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		評価表を用いて保護者の意向を把握できるようにし、事業所でおこなえる範囲において業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		職員間のコミュニケーションを大切にし、業務改善の為意見を出し合えるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100		実施に向け検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		必要な研修に参加したり、法人内の動画研修を活用している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100		支援プログラムを作成、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100		個々のニーズに合わせた個別支援計画となるよう、適切にアセスメントをおこなっている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100		直接支援をおこなう職員からの意見も取り入れ、支援計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		職員全員が個別支援計画に目を通せるようにしたり、ミーティングにて支援方針を共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	85.8	14.2		病院での検査結果等の情報共有を進め支援に活かしていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100		個別支援計画に記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		ミーティング等により意見を出し合えるようにしている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		季節に沿った行事や療法等をおこなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100		個々の発達段階に合わせて活動を提供するようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		日程表に記載する他、支援開始前のミーティングをおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	85.8	14.2		職員の勤務時間が異なる為、職員全員で集まってその日の振り返りをおこなうことは難しい。ミーティングノートを活用し情報の共有をおこなっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100		記録を取って定期的に見返すことで支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100		定期的にモニタリングをおこない計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	85.8	14.2		「地域交流活動」に関して、地域の児童と関わることが少ない。地域の行事等への参加を検討していきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100		用意されたかごからおやつを選んだり、個別活動の時間には活動内容を自分で決められるように選択肢を設けている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100		担当者会議等参加する際には、事前に所での様子を担当職員に聞き取りする等しながら、会議で適切にこどもの状況を伝えられるようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100		文書や口頭のやり取りにて情報の共有をおこなっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100		下校後、こどもがスムーズに乗車、来所できるように学校との情報共有を大事にしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100		保育所等訪問したり、保育所等からの訪問を受け、情報共有をおこなっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	85.8	14.2		十分な情報提供ができていないと感じている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100		児童発達支援センターから助言を受け、支援の改善に努めている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	57.1	42.9		放課後児童クラブ等と交流する活動を提供できていない。地域のこどもと活動する機会について検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		100		要請があった際は、参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		連絡帳に記載したり、口頭で伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85.8	14.2	研修の情報を掲示し、伝えている。	職員がペアレント・トレーニングの技術を身に付けていく必要がある。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100		運営規定、利用者負担について見えやすい場所に掲示している。支援プログラムをホームページに掲載している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100		こども本人の意思を汲み取ったり、保護者の意見を出来る限り取り入れている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100		適切におこなっている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100		家族から相談があった際は障害特性を踏まえた具体的対応方法を伝えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	85.8	14.2		保護者会を開催できていない為、保護者の意見を取り入れ開催を検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100		苦情には迅速に対応している。また、苦情を受けての改善策を施設内会議、法人内会議、第三者委員との会議にて話し合っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100		行事予定は毎月配布し事前に伝えている。また、準備等必要な行事は事前に通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100		契約時に情報の取り扱いについて確認を取っている。また、写真掲載時にはその都度、了承を得ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		視覚的に伝えるなど、その都度必要な対応をおこなっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	42.9	57.1		地域住民を招待する行事をおこなっていない為、今後検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100		全てのマニュアルを策定し、訓練を踏まえ改善を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100		業務継続計画（BCP）を策定し、避難訓練を毎月おこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100		契約時に必要な書類に記入して頂き、確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100		契約時に確認している。アレルギーがある場合、表に記し、各職員が確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全計画を作成し、計画に基づいて危険個所の確認や避難訓練をおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100		連絡帳へ記載する等しながら伝えている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100		定期的に会議をおこない、再発防止に向けた具体的対応を職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		オンライン研修を活用し、すべての職員が研修を受けられるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100		契約時に説明している。また、個別支援計画に記載している。		